

- 問1 三重県津市などの気候データにおいて、1月の平均気温が5度前後、8月の平均気温が28度前後と温暖で、年間降水量が2000mmを超える地域が見られます。特に6月と9月の降水量が300mmを超えて大きな山を作るこの気候区分として、最も適切な名称を答えなさい。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. 日本海側の気候 2. 太平洋側の気候 3. 瀬戸内の気候 4. 中央高地の気候
-
- 問2 江戸時代から明治時代にかけての、滋賀県における輸送手段の変化について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
1. 鉄道よりも北前船による日本海ルート
の需要が高まったため、明治時代を通じて琵琶湖の利用者が増加し続けた
2. 鉄道は旅客専用として整備されたため、物資の輸送については明治時代末期まで琵琶湖の船運が独占していた
3. 明治時代初期に琵琶湖の全域を埋め立てる工事が行われたため、水上輸送から鉄道へと強制的に切り替えられた
4. 明治時代中期以降、東海道線などの鉄道網が整備されたことで、琵琶湖の水上輸送から鉄道へと輸送の主役が交代した
-
- 問3 2017年の統計に基づき、近畿地方の各府県における65歳以上人口の割合を比較した際、その割合が24%から27%の範囲にあり、近畿地方の中で最も高齢化率が低い県と、その県庁所在地の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
1. 滋賀県 — 大津市 2. 和歌山県 — 和歌山市 3. 三重県 — 津市 4. 奈良県 — 奈良市
-
- 問4 近畿地方における人口の流動について、滋賀県や奈良県から京都府や大阪府へ多くの人々が通勤・通学している要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
1. 京都市や大阪市などの都市部で地価が急激に下落し、周辺県からの通勤者が減少したため。
2. 鉄道網や高速道路の整備が進み、大都市圏のベッドタウンとして住宅地の開発が行われたため。
3. 近畿地方の各府県間での移動を制限していた関所などの制度が、近年になって廃止されたため。
4. 滋賀県や奈良県に大規模な重化学工業地帯が形成され、京都府から多くの労働者が流入したため。
-
- 問5 近畿地方の農業に関する統計において、ある果実の2022年の全国収穫量は合計9万6600トンであり、そのうち単独で6万4400トンを生産している県があります。全国の3分の2以上という圧倒的なシェアを誇るこの県はどこですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 和歌山県 2. 兵庫県 3. 奈良県 4. 三重県
-
- 問6 京都府は、近畿地方の他府県と比較して国宝・重要文化財に指定された建造物の数が非常に多いという特色があります。このように多くの歴史的遺産が現代まで失われずに残った主な理由として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 明治時代以降、急速な工業化が進んだ際に、古い建造物をすべて山間部に移築して保護する政策がとられたため。
2. 長期間にわたって政治・文化の中心地であり続け、さらに第二次世界大戦時の大規模な空襲被害を免れた地域が多かったため。
3. 盆地特有の湿潤な気候が、木造建築物の腐食や火災の発生を千年以上もの間、自然に防いできたため。
4. 江戸時代に幕府が置かれたことで、江戸（現在の東京）と並ぶ大規模な都市再開発が常に行われてきたため。
-
- 問7 神戸市の中心部における地形の特色と、そこから読み取れる都市の形成状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 愛知県公立入試 類似)
1. 大規模な扇状地の扇端部に位置しており、等高線の間隔が非常に広い平坦な土地を利用して官公庁が並んでいる。
2. 広大な平野の中央部に大規模な盆地が広がっており、その中心部に等高線に沿って公共施設が分散している。
3. 北側に六甲山系が迫り南側に海に面するという限られた平地に、主要な駅や官公庁が集中して配置されている。
4. 複雑に入り組んだリアス海岸の入り江ごとに、山を背にして独立した小規模な集落と駅が点在している。
-
- 問8 近畿地方における歴史的資源と観光業の関係について述べた文として、統計的な傾向と一致するものはどれですか。国宝や重要文化財の数と、宿泊客の利用目的の関連性に着目して選びなさい。 (2014年 兵庫県公立入試 類似)
1. スキー場などのレジャー施設の数が多い府県ほど、重要文化財の数に比例して観光目的の宿泊者が増える。
2. 重要文化財などの歴史的資源が豊富な府県ほど、宿泊客全体に占める観光目的の利用者の割合が高い傾向にある。
3. 宿泊施設の総数が多い府県ほど、歴史的資源の数に関わらず観光目的の宿泊者の割合が必ず高くなる。
4. 歴史的資源が豊富な府県であっても、宿泊客の多くはビジネスや業務を目的とした利用者が大半を占めている。
-
- 問9 滋賀県の地方版図柄入りナンバープレートには、波打つ湖水の様子が描かれています。このイラストのモチーフとなっており、滋賀県の面積の約6分の1を占める、日本で最大の面積を持つ湖の名称を答えなさい。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 霞ヶ浦 2. 中海 3. サロマ湖 4. 琵琶湖
-
- 問10 近畿地方から四国地方への交通網において、兵庫県の神戸市、淡路島、そして徳島県の鳴門市を結ぶルート（神戸・鳴門ルート）が果たしている役割として最も適切なものを選択してください。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 本州の岡山県と四国の香川県を鉄道と道路の両方で繋ぎ、瀬戸内海の物流の中心を担っている。
2. 淡路島を通過して大阪府と和歌山県を最短距離で結ぶことで、紀伊半島の孤立化を防いでいる。
3. 明石海峡大橋と大鳴門橋を介して、本州と四国を陸路で直結し、人や物の移動を効率化させている。
4. 広島県から愛媛県にかけて点在する多くの島々を橋で結び、サイクリングロードなどの観光資源を提供している。
-
- 問11 近畿地方の各府県を比較した統計において、人口密度が1平方キロメートルあたり300人未満という低い水準にある府県で見られる、人口増減率と高齢化率の特徴として正しいものはどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. 人口増減率がマイナス（減少）を示しており、高齢化率が地域内で最も高い水準にある。
2. 人口増減率がマイナス（減少）を示しているが、高齢化率は地域内の平均よりも低い。
3. 人口増減率がプラス（増加）を示しているが、高齢化率は地域内で最も高い水準にある。
4. 人口増減率がプラス（増加）を示しており、高齢化率が地域内で最も低い水準にある。
-
- 問12 淡路島では、人口の減少を抑え定住者を増やすための施策（定住促進）が積極的に行われています。島の外にある神戸や大阪方面へ働きに出る住民を支援し、島に住み続けてもらうために実施されている具体的な制度の内容について、最も適切なものはどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. 漁業を廃止し、島内すべての就業者を製造業へ転職させる制度
2. 島外へ通勤するための交通費や高速道路料金を補助する制度
3. 宇宙センターを誘致し、島内での高度な専門職雇用を創出する制度
4. 島内の農地をすべて住宅地に転用し、固定資産税を免除する制度

答え合わせ・解説

問1	答え 2 太平洋側の気候	三重県は太平洋側に位置し、黒潮（日本海流）の影響を受けて温暖な気候となります。夏季は湿った季節風や梅雨前線、台風の影響により降水量が多くなりますが、冬季は季節風が山脈を越える際に水分を失い乾燥した晴天が続くため、降水量が少なくなります。このように夏に降水が多く冬に乾燥するパターンは太平洋側の気候の典型的な特徴です。
問2	答え 4 明治時代中期以降、東海道線などの鉄道網が整備されたことで、琵琶湖の水上輸送から鉄道へと輸送の主役が交代した	滋賀県では古くから琵琶湖を利用した物資輸送が盛んでしたが、明治時代に入り、近代化政策の一環として東海道線などの鉄道が整備されると、交通体系が大きく変化しました。特に明治時代中期以降は、大津や長浜といった拠点で鉄道で結ばれたことにより、長年続いていた水上輸送から、より効率的な鉄道輸送へと物流の構造が転換しました。
問3	答え 1 滋賀県 ― 大津市	近畿地方において、滋賀県は京都府や大阪府といった大都市圏に隣接しており、県庁所在地の大津市などを中心にベッドタウンとしての機能を持っているため、他の府県と比較して高齢者の割合が低く保たれているという特徴があります。一方で、選択肢にある和歌山県などは滋賀県に比べて高齢化率が高い傾向にあります。
問4	答え 2 鉄道網や高速道路の整備が進み、大都市圏のベッドタウンとして住宅地の開発が行われたため。	滋賀県や奈良県は京都府や大阪府に隣接しており、JRや私鉄などの鉄道網が非常に発達しています。これにより、歴史的な景観や良好な居住環境を求めて周辺県に居住し、中心都市である京都市や大阪市へ働きに出たり通学したりする「ベッドタウン」としての役割が強まりました。このような都市間のつながりを人口流動のデータから読み取ることが重要です。
問5	答え 1 和歌山県	和歌山県は日本最大の梅の産地として知られています。統計データによると、全国の収穫量の約67パーセント（約3分の2）を和歌山県が占めており、これは他の都道府県を大きく引き離す生産量です。温暖な気候や水はけの良い傾斜地が梅の栽培に適しているため、古くから大規模な生産が行われてきました。
問6	答え 2 長期間にわたって政治・文化の中心地であり続け、さらに第二次世界大戦時の大規模な空襲被害を免れた地域が多かったため。	京都は1000年以上にわたって都として機能した歴史的背景から、質・量ともに優れた建造物が集積しました。また、第二次世界大戦において、東京や大阪などの大都市が大規模な空襲によって焼け野原になったのに対し、京都は米軍の攻撃対象から外された区域が多く、貴重な木造の国宝・重要文化財が焼失を免れて現代に引き継がれました。
問7	答え 3 北側に六甲山系が迫り南側が海に面するという限られた平地に、主要な駅や官公庁が集中して配置されている。	神戸市は、北側の六甲山系と南側の大阪湾（瀬戸内海）に挟まれた東西に細長い土地に市街地が形成されています。地形図からは、北側に等高線が密集する急峻な山地が迫っている様子や、その山麓から海岸までのわずかな平地の中に、三ノ宮駅や元町駅、兵庫県庁、神戸市役所といった主要な都市機能が密集して存在していることが読み取れます。このような狭小な平地という地理的条件が、神戸の都市構造を決定づける要因となっています。
問8	答え 2 重要文化財などの歴史的資源が豊富な府県ほど、宿泊客全体に占める観光目的の利用者の割合が高い傾向にある。	近畿地方、特に京都府や奈良県などは、国宝や重要文化財といった歴史的文化財が日本国内でも有数の集積地となっています。これらの文化財は強力な観光資源として機能するため、その地域の宿泊客の動向を分析すると、ビジネス客よりも観光を主な目的とする宿泊者の割合が顕著に高くなるという相関関係が見られます。宿泊施設の数そのものではなく、その土地が持つ「文化財」という資源の豊かさが観光需要を直接的に誘発しているのが特徴です。
問9	答え 4 琵琶湖	滋賀県の中央部に位置するこの湖は、日本で最大の面積を誇る淡水湖です。県土の約17%を占める広大な水面を持ち、古くから水運や漁業に利用されてきました。茨城県にある霞ヶ浦は日本で2番目に大きい湖であり、島根県と鳥取県にまたがる中海は汽水湖として知られています。
問10	答え 3 明石海峡大橋と大鳴門橋を介して、本州と四国を陸路で直結し、人や物の移動を効率化させている。	兵庫県を通る「神戸・鳴門ルート」は、本州と淡路島を結ぶ明石海峡大橋と、淡路島と徳島県を結ぶ大鳴門橋によって構成されています。このルートの完成により、従来は船舶に頼っていた近畿圏と四国東部の交通が高速道路で直結されました。これにより、農産物の輸送時間の短縮や観光客の増加など、地域経済の活性化に大きく貢献しています。他の選択肢は、瀬戸中央自動車道（瀬戸大橋）や西瀬戸自動車道（しまなみ海道）の説明です。
問11	答え 1 人口増減率がマイナス（減少）を示しており、高齢化率が地域内で最も高い水準にある。	人口密度が低い地域は、山間部などの過疎地域を抱えていることが多く、進学や就職に伴う若年層の都市部への流出が顕著です。その結果、総人口が減り続ける「人口減少」が進行するとともに、相対的に高齢者の割合が高まるため、統計上では人口増減率のマイナスと高齢化率の最高値が同時に現れる傾向があります。
問12	答え 2 島外へ通勤するための交通費や高速道路料金を補助する制度	淡路島は明石海峡大橋や大鳴門橋で本州・四国と結ばれており、神戸市や大阪市といった都市部への通勤が可能です。しかし、橋の通行料金などの交通コストが負担となるため、自治体は定住促進の一環として、島外へ通勤する住民の交通費を補助するなどの施策を行い、利便性を高めて人口流出を防ぐ工夫をしています。